

英米文化学会会報

第47号

平成13年5月26日版



Who is he?

目次

- 英米文化学会第106回例会開催のお知らせ(発表要旨付き)
- 英米文化学会第19回大会のお知らせ
- 出版特別企画委員会からのご報告
- 事務局からのお知らせ
- シンポジウム企画について
- 会計の銀行口座の名義人と番号が変更
- 電子図書館サービスに申し込み完了

英米文化学会第106回例会開催のお知らせ

標記の会を下記の要領で開催します。万障お繰り合わせの上、ご出席ください。

開催年月日：平成13年6月9日(土)

場 所：日本大学歯学部3号館2階第5講堂(お茶の水駅下車ニコライ堂至近)

総会：発表終了後に同じ場所にて総会を開催いたします。

懇親会：参加者の負担を軽減すべく、会費2,000円!で5時半より6階の実習室にて行います。
会場は、同じ校舎の6階となります。懇親会のみへの参加も歓迎いたします。

研究発表

1. 『ロ・ド・ジム』とデラシネの実感

浅井 やよい(青山学院大学)
司会 相良英明(鶴見大学)

2. エズラ・パウンドのヴェニス ジョン・ラスキンを媒介にして

塚田英博(城西大学)
司会 鈴木哲也(明治大学)

研究発表レジュメ

1. 『ロ・ド・ジム』とデラシネの実感

浅井 やよい

『ロ・ド・ジム』には霧がかかっている。それはマ・ロウ船長の曖昧な語り口に著しい。五里霧中のわれわれに見えないものが、聞こえないものが、触れられないものが存在する

のだとマ・ロウは言う。とすれば『ロ・ド・ジム』に「実感(a sense of reality)」はあるのか？ この「実感」とは現実そのものではなく、人によって違うが現実だと感じられる“a sense”である。本発表ではこの「実感」を取り上げたい。『ロ・ド・ジム』の実感には作者コンラッドの実人生が絡んでいる。ポ・ランド人コンラッドはフランス経由でイギリスに帰化した。船乗りから転身し作家になった彼はヴィクトリア朝社会で内面の異邦人だった。だが創造は矛盾から生まれる。有形の船は無形の海に弄ばれ、矛盾の波間でバランスを失って揺らぐ危うい存在である。それがジムでありコンラッドだ。ジム同様コンラッドもまた故郷を離れ根無し草(デラシネ)になった。東欧から西欧へと別世界に置かれたコンラッドの価値観は覆ったのだ。西洋から東洋へ逃げ、かつ夢を追う『ロ・ド・ジム』の「実感」に焦点を当てつつコンラッドの虚実を迫る。

2. エズラ・パウンドのヴェニス ジョン・ラスキンを媒介にして 塚田英博
パウンドはイギリスに嫌悪を感じ、1921年にフランスへ渡り後にイタリアへと向かう。そしてその地で生涯を閉じた。パウンドがイギリスを出国した原因の一つに、その大衆嫌いがあったことは間違いない。しかし何故脱出先が故国アメリカではなく、イタリアだったのか。それも特にヴェニスにパウンドは甚だしく気に入り、『キャントウズ』の中で僂も取り上げている。パウンドがそこまでヴェニスに固執した理由は何であったのか。この問いの答えを導く重要な存在が、ジョン・ラスキンである。ラスキンは人工的なルネッサンスを嫌い、中世の雰囲気が残るヴェニスの芸術を愛した。そしてパウンドは人工的ではない古代の神々が存在する芸術の復元を目指した。

今回の発表では、「ラスキンのヴェニス」というフィルターを通して、そこに自らの芸術観念の理想像を見出したパウンドを、その作品等によりながら位置付けたい。

英米文化学会第19回大会のお知らせ

開催日：平成13年9月8日(土)

場所：日本大学会館701号会議室〔JR市ヶ谷駅アルカディア市ヶ谷(旧私学会館)向い〕

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8 03(5275)8110

なお、会場への電話での直接の問い合わせはご遠慮ください。

研究発表(氏名のアイウエオ順)

1. The Cement Gardenに見られるシンボリズム 明石 美恵子(鴨方町立鴨方中学校)
2. T.S.エリオットの信仰と教会 亀岡 浩一(立正大学)
3. ヘンリー・ジェームズの国際テーマの可能性 川口 淑子(東京工科大学)
4. 『ハワイ通信』と『地中海遊覧記』の脇役の意味 佐野 潤一郎(創価大学)
5. ガートルード・コッパアドとは誰か ラディカル・フェミニストの『息子と恋人』批判を中心に 須田 理恵(日本大学)
6. カントリーソングの歌詞から見る情感 田中 健二(摂南大学)
7. 動詞の語形成を習得するプロセス 大学での英語教育の実践から 松谷 明美(横浜市立大学)
8. 第二言語読解における下位レベル処理能力の影響 どのような下位レベル処理能力が第二言語読解力を予測するか 松村 優子(京都橘女子大学)

講演者は名和雄次郎先生です。演題は次回の会報でお知らせいたします。

出版特別企画委員会からの経過報告

金星堂からいただいた書籍出版についてのご提案に沿って、昨年9月、テーマ等について

のアンケート調査を全会員を対象に実施し、約60通の回答をいただきました。結果の処理から現在までの経過の概略をご報告いたします。

1) アンケートをテーマ別に10グループ(下記)に分類し、回答者全員をいずれかのグループに配置し、本年3月3日にグループ別打ち合わせ会を実施しました。

1. シェイクスピア 2. 女性論 3. イギリス文化 4. アメリカ文化
5. イギリス文学 6. アメリカ文学 7. 英語教育 8. コミュニケーション
9. インターネット 10. 動物と文化

2) その後、他グループへの移動、新規参加、グループの統合、一時見送り等々がありましたので、4月上旬の委員会で状況を確認し、検討の結果、個人の計画書が出されているグループから流動的なグループまで含め、次の6グループに絞らせていただきました。

グループ名(人数 4月7日現在、代表者 敬称略)

1. シェイクスピア(12人、宮本正和)
2. イギリス文化(15人、大東俊一)
3. アメリカ文化(14人、君塚淳一)(アメリカ文学も活動を継続します)
4. 英語教育(13人、亀山 孝、木村みどり)
5. インターネット(6人、内田 均)
6. 動物と文化(11人、田辺治子)

なお、同一年度に数点を出版するのではなく、何年かかけて、逐次出版という形になりましょう。この点ご了解ください。(文責 伊澤 章)

「アメリカ文化」「アメリカ文学」グループからの報告

「アメリカ文化」「アメリカ文学」のグループは、大半のメンバーが重複しているため、先に「アメリカ文化」についての本を出版し、その後アメリカ文学に関する出版計画をたてる予定です。本グループは君塚淳一先生を代表として、『アメリカ文化 1920年代』(仮題)に関する出版計画を準備しています。5月の連休明けに、出版計画その他について、打ち合わせの会合をもちました。

事務局からのお知らせ

新会長に高取 清先生が就任しました。

3月の例会後の総会において、永年にわたり、英米文化学会の発展に心を砕かれた名和雄次郎先生が会長を辞任され、理事一同の推薦を受け、高取 清先生が新会長に就任しました。

理事についても、五味田幸夫、鈴木俊二、中村 豪の三氏が辞任され、新たに、石山伊佐夫、上野和子、大東俊一、吉田俊実の四氏が理事として就任し、以下のような理事構成(今回より、理事の役割分担に少々変更あり)となっています。

茲に紙面を借りて、名和雄次郎、五味田幸夫、鈴木俊二、中村 豪の四氏の功績に対し感謝を顕したいと思います。

理 事

- 常任理事 高取 清 (会長) ktakator@ell.u-bunkyo.ac.jp
理事長 小野 昌 (副会長) onomasa@tky.3web.ne.jp
常任理事 石川郁二 (副会長) ikuishi@mt.tama.hosei.ac.jp
常任理事 佐藤治夫 (事務局長) shakey23@tky.3web.ne.jp
学術担当理事 田邊治子 tanabeh@dh.catv.ne.jp
分科会担当理事 須田理恵 rsuda@tky.3web.ne.jp
大会担当理事 曾村充利 msomura@mt.tama.hosei.ac.jp
例会担当理事 上野和子 kazukou@aol.com
広報担当理事 石山伊佐夫 ishiyama@cc.toin.ac.jp

財務担当理事 大東俊一 daito@human.ac.jp
渉外担当理事 吉田俊実 tyoshida@cc.teu.ac.jp

各種問合せ先

- ・ 年会費、投稿料について

財務担当理事 大東俊一 (daito@human.ac.jp) まで
Home 03-5399-3395 Office 048-749-6111(代)

- ・ 学会報への投稿、例会・大会関係資料

広報担当理事 石山伊佐夫 (ishiyama@cc.toin.ac.jp)
Home 045-592-6570 Office 045-974-5085

- ・ 転居、勤務先などの会員情報の変更

渉外担当理事 吉田俊実 (tyoshida@cc.teu.ac.jp)
Home 042-675-9813

- ・ 『英米文化』への投稿 (詳細は投稿規程をご覧ください)

学術担当理事 田邊治子 (tanabeh@dh.catv.ne.jp)
Home 03-3722-0235

- ・ 分科会関連

分科会担当理事 須田理恵 (rsuda@tky.3web.ne.jp)
Home 03-5560-0839

- ・ 例会での研究発表申込み

例会担当理事 上野和子 (kazukou@aol.com)
Home 03-3425-4678

- ・ 大会での研究発表申込み

大会担当理事 曾村充利(在英中)
同代行 石川郁二 (ikuishi@mt.tama.hosei.ac.jp)
〒192-0913 八王子市北野台 5 - 36 - 1 Home 0426-37-4029

新評議員がきました

上記のごとく、新理事は、評議員の三氏が就任して、評議員との兼務ができないので、評議員を辞任した形になっています。新評議員を加え、評議員会も新しくなりました。*が、新評議員を示します。

浅間 正通、伊澤 章、亀山 孝、君塚 淳一、倉崎 祥子、古澤 寛行、小林 弘、*五味田 幸夫、*相良 英明、佐久田 英子、佐藤 成男、*鈴木 俊二、鳥飼 慎一郎、*中村 豪、宮本 正和、室岡 博、山根 正弘

会員の動き

【新入会員】(受付順)

【賛助会員】

【住所変更(新住所)】

【その他(メールのみの変更)】

【訂正】

財務からのお知らせ

< 郵便振替 > **変更なし**

加入者名：英米文化学会

口座番号：00160-7-611777

会費の払込みのお願い **会費 5000 円**

平成13年度までの会費が未納の方は、同封の振替用紙でお支払いください。

学会の銀行口座が変更になりました。

< 銀行口座 >

名義人：英米文化学会 代表 大東俊一

口座番号：三和銀行高島平支店 3974636

なお、郵便振替は、加入者名・口座番号とも変わりません。

年度末の例会にてシンポジウムを企画しています

平成14年3月9日(土)は、学会暦では例会となっていますが、シンポジウムを計画しております。タイトルは、「大学生の英語力の低下」の予定です。興味津々で参加者があふれるような企画を考えています。最新情報を今後ホームページならびに会報にてお知らせする予定です。

電子図書館サービスに申し込み完了

国立情報学研究所電子図書館サービス(NACSIS-ELS = Electronic Library Service) <http://www.nii.ac.jp/els/els-j.html> に英米文化学会は加入しました。現在、学会誌第1号から最新号までを送付して、PDF形式での公開に備えていただいている状態です。このサービスは、論文のタイトル、著者名、抄録などを検索情報としてデータベース化している他、学術雑誌のページをそのまま画像データとしてデータベース化し、インターネット上で提供しています。このサービスを利用すると、御自分のワークステーションやパソコンを使って、学術論文のタイトルや著者名などのキーワードから検索することができ、論文のページがそのまま画面に表示されるため、雑誌を読む感覚でページをめくることができます。また、高品質な印刷出力も可能となっています。今までは雑誌論文は、図書館へ行って読んだりコピーをとったり、あるいは他の図書館から取り寄せたりしなければならなかったのですが、この電子図書館サービスを利用すると、よりいっそう迅速・簡単に入手することができます。



And who is he?

英米文化学会会報 第47号

編集/発行：英米文化学会

編集責任者：石山伊佐夫(広報担当)

〒224-0028 横浜市都筑区大榎西3-3-1001

045-592-6570

年会費等振込先：郵便振替 加入者名 英米文化学会 口座番号 00160-7-611777

問い合わせ先 英米文化学会事務局 佐藤治夫 03-3219-8160 ファックス 03-5204-8787

E-mail: shakey23@tky.3web.ne.jp 学会ホームページ <http://www.osk.3web.ne.jp/~shakey23/indexj.html>